令和3年度概算要求について

文部科学省初等中等教育局 幼児教育課長 井上 睦子



新型コロナウイルス感染症対策をはじめとした新規課題に的確に対応しつつ、幼児を健やかに育むよう、 幼児教育実践の質の向上をソフト・ハードの両面から総合的に推進する。

1 子供の育ちを守る幼児教育の推進

81億円(14億円)

- 幼児教育推進体制の充実・活用強化事業 3億円(2億円) 保健・福祉等の専門職との連携をはじめ、多様な課題に対応する自治体の幼児教育推進体制の構築、活用強化を支援
- 幼稚園教諭の人材確保・キャリアアップ支援事業 1.3億円(1億円) 質の高い幼児教育・保育の実践の根幹となる幼稚園教諭の人材確保・キャリアアップの取組を推進
- 教育支援体制整備事業費交付金 76億円(10億円) 幼稚園のICT環境整備や感染症対策を実施するために必要となる物品等の購入経費等を支援
- 幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究 0.6億円(0.6億円) 感染症への対応、障害のある幼児や外国人の幼児への対応などの課題に対応した指導方法等の充実

2 新たな日常を支える施設整備 215億円 + 事項要求(30億円)

- 私立幼稚園施設整備費 15億円 + 事項要求(5億円) 園舎の耐震化、感染症予防の観点からの衛生環境の改善や施設の改修等を支援
- 認定こども園施設整備交付金 200億円 + 事項要求 (25億円) 認定こども園等の施設整備、園舎の耐震化、感染症予防の観点からの衛生環境の改善等を支援





幼児教育推進体制の充実・活用強化事業

令和3年度要求額 (前年度予算額 3億円 1.9億円)



背景

- ○複数の施設類型が存在し、私立が多い幼児教育の現場において、公私・施設類型問わず保育者の専門性の向上等の取組を 一体的に推進するためには、幼稚園教育要領等の着実な実施、小学校教育への円滑な接続、特別な配慮を必要とする幼児 への対応など教育内容面での質向上を担う地方公共団体の体制の充実が必要。
- ○特に、新型コロナウイルス感染症で顕在化した課題に対して、保健、福祉等の専門職から適時適切なアドバイスを求める声があるものの、各園単独での個別の専門職との連携は負担が大きく非効率。

事業内容

保健、福祉等の専門職との連携をはじめ、多様な課題に対応する幼児教育推進体制の構築、活用強化を支援

体制の 充実

- 幼児教育アドバイザーの配置、質向上のための取組、新規アドバイザーの育成
- •新型コロナウイルス感染症で顕在化した課題への対応のため、保健、福祉等の専門職との効果的な連携<新規>

人材育成 方針

•幼児教育の実践の質向上のためのガイドラインの作成・活用

体制の 活用 • 研修・巡回訪問の充実(保健、福祉等の専門職を含む<新規>) 、 幼小接続の推進、公開保育等の実施支援

域内全体 への波及

都道府県・市町村の連携を含めた関係者間の情報共有等、域内全体 における幼児教育の質向上を図るための仕組み作り

○○県(市)幼児教育センター





幼児教育アドバイザーの 配置・育成

保健、福祉等の専門職との連携

[以下要件]

- ・幼児教育センターの設置
- ·担当部局一元化
- ・小学校指導担当課との連携体制確保

補助対象

都道府県、市町村

単価・個所数 ・補助率

1000万円程度(1/2)×58団体

補助 対象経費

- ・幼児教育アドバイザー配置に必要な経費(人件費等)
- ・専門職との連携に必要な経費(謝金等) <新規>
- ・研修・巡回訪問等に必要な経費(謝金、旅費等)

幼稚園教諭の人材確保・キャリアアップ支援事業

令和3年度要求額 1.3億円 (前年度予算額 1億円)



趣

○ 幼稚園教諭については、**免許取得者の大半が他業種へ就職する、平均勤続年数が短い、離職者 の再就職が少ない**といった課題があり、**人材の需要の高止まりに供給が追い付いていない**。

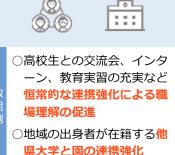
○ これらの課題に対応するため、質の高い幼児教育・保育の実践の根幹となる**幼稚園教諭の確保** 及びキャリアアップに必要な取組を総合的かつ効果的に実施し、好事例の横展開を行う。



養成 免許取得者の 幼稚園への就職促進 ※免許取得者の就園: 26% [関係者の連携強化] 養成校 幼稚園

幼稚園

団体



自治体

採用

果 ミスマッチ解消・早期離職防止 ※離職者の61%が30歳未満 ※平均勤続年数は約7年

「自治体・団体によるコーディネート]



- ○養成段階の関係を活かした採用活動(合同就職説明会等)
- ○園のリクルーティング・志望 者の就職を支援するアドバイ ザーの配置
- ○UIJターン政策との連携

定着

働きやすい職場環境の構築、働き方改革の推進



○園務のICT化、職場環境改善、労務管 理などのマネジメント改革の推進



○現場の課題に即した研修の実施(発達障害や外国人幼児、虐待対応等)

キャリアアップ

一種免許状の取得機会の 拡大による専門性の向上

※二種免許所有者:68%



取 **免許法認定講習の** 組 開設等

○キャリアアップの 見通しの可視化 組 ○研修参加のための

○研修参加のための 体制整備(チーム 保育等)の促進



幼稚園



x キャリアカウン セラーによる支援・相談

再就職・転職による採用

経験のある潜在幼稚園教諭の活用の促進

幼稚園 団体

- ○離職者情報を集約するアプリや取 データベース等の開発・導入
- ○再就職希望者向け合同就職説明会・研修会

養成校等 300万円 16団体(免許法認定講習の開設等) 自治体・幼稚園団体等 800万円 10団体(上記以外)

委託先

自治体·幼稚園団体·養成校等

教育支援体制整備事業費交付金

令和3年度要求·要望額 76億円 (前年度当初予算額 10億円、補正予算額 66億円)



認定こども園の設置を支援するとともに、**新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと実施**しつつ、**幼児を健やかに育むために必要な環境整備**を推進する。

- 1 幼児教育の質の向上のための緊急環境整備
- (1) 遊具・運動用具等の整備費用
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、保健衛生 用品の購入など、感染症対策の徹底に必要な経費







2 認定こども園等における教育の質の向上のための研修支援 教育の質の向上を図るため、教職員等を対象とした研修 を支援 3 保育教諭確保のための幼稚園教諭免許状取得支援

保育教諭を確保するため、保育士資格を有する者の幼稚園教諭免許状取得を支援

4 認定こども園等への円滑な移行のための準備支援

認定こども園等に移行する準備に必要な経費を支援



5 ICT環境整備の支援

園務改善をはじめ、オンラインによる教員研修や保育 参観、保育動画の配信やアプリを利用した家庭との連 絡など、「新たな日常」に対応したICT環境整備を支援



対象 校種

想定

人材

- 1 幼稚園、幼稚園型認定こども園、 幼保連携型認定こども園
- |2|| 幼稚園・認定こども園・保育所の教職員等
- 3 幼稚園教諭免許状を有しない保育士等
- 4 学校法人
- 5 幼稚園、幼稚園型認定こども園

補助対象 経費 1 物品等の購入費等、2 研修参加費、

3 免許取得受講料等、4 事務職員雇用費等、

5 情報システム導入費、等

実施 主体

都道府県

1 (1) 国 1/2、事業者 1/2 (2) 国 10/10

補助 割合

2 4 国 1/2、事業者 1/2

3 国 1/2、

都道府県・政令都市・中核市 1/2

5 国 3/4、事業者 1/4

4

幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究

令和3年度要求·要望額 (前年度予算額

0.6億円 0.6億円)



新型コロナウイルス感染症下における切れ目ない幼児教育の実践、外国人幼児や障害のある幼児等への対応など、幼児教育が今直面している 課題について、指導方法等を充実させることが求められていることから、これらの課題に対応する指導方法等に関する調査研究を実施し、幼稚園 教員の資質・能力を高め、指導等の充実を図る。

事業内容

新型コロナウイルス感染症下における切れ目ない幼児教育の実践

幼児の豊かな行動を引き出す環境の構築や教師による適切な指導を支援するための調査研究を実施する。具体的には、新型コロナウイルス感染症対 策を取りながら効果的な幼児教育の実践を図るため、ICT機器の活用方策など臨時休業等をも視野に入れた幼稚園教育の在り方等に関する調査研究 を実施する。

【研究テーマ(例)】

- ・家庭への動画配信や家庭との情報共有、連携
- ・オンラインを活用した小学校などの他機関との交流の在り方
- ・小規模集団での幼児教育の実践の工夫
- ・行事の実施の工夫

特別な配慮を必要とする幼児への指導の充実に関する調査研究

幼児期の特性を踏まえた研修プログラムの開発を行うとともに、実践を通した実証研究を実施する。

外国人幼児等

【研修プログラム】

言語を生活や遊びを通して教えるという幼児期の特性を踏まえて開発 【実証研究テーマ(例)】

- ・外国人幼児が日本での幼稚園生活に親しんでいくために有効な教材の開発 ・早期発見に資するアセスメントの開発や活用

障害のある幼児等

【研修プログラム】

社会性や言語等がこれから発達していくといった幼児期の特性を踏まえて開発 【実証研究テーマ(例)】

- ・小学校教育への円滑な接続を踏まえた教育活動や小学校との連携の在り方・小学校教育への円滑な接続を踏まえた教育活動や小学校との連携の在り方

対象 幼稚園 校種 箇所数 15箇所 単価 380万円/箇所 期間 1年

委託先

都道府県、市区町村、大学、幼稚園団体

委託 対象経費 調査研究に必要な経費

(人件費、設備備品費、委員旅費、謝金等)

私立幼稚園施設整備費補助金

令和3年度要求·要望額 15億円 + 事項要求 (前年度予算額(臨時·特別の措置除く) 5億円)



緊急の課題となっている耐震化のための園舎、外壁や天井等の非構造部材の耐震対策、防犯対策、アスベスト対策、付帯設備のエコ改修等に要する経費の一部を補助。特に、預かり保育などコロナ禍においても子供を安心して育てることができる環境整備や、感染症予防の観点からの衛生環境の改善を促進する。

1 耐震補強工事 ・・・ 耐震補強、非構造部材の耐震対策、防災機能強化

防犯対策工事・・・・門・フェンス・防犯監視システム等の設置工事

3 新築・増築・改築等事業 ・・・ 新築、増築、耐震改築、その他危険建物の改築・改修

預かり保育への対応、分散保育に対応するための保育スペースの確保、 感染症対策のための間仕切りの設置等

4 アスベスト等対策工事 ・・・ 吹き付けアスベストの除去等

5 屋外教育環境整備・・・・・アスレチック遊具、屋外ステージ等の整備

6 Iコ改修事業 ・・・・ 太陽光発電の設置、省エネ型設備等の設置・改修

トイレの乾式化、分散保育に対応するための空き教室の空調整備

ブバリアフリー化工事・・・・ スロープの設置、障害者用トイレのバリアフリー化等

対象 校種

私立の幼稚園

補助割合

国 1/3、事業者 2/3

※地震による倒壊等の危険性が高い施設の耐震補強・ 改築工事 国 1/2、事業者 1/2

実施 主体

事業者 (学校設置者)

補助対象 経費

工事費、実施設計費、耐震診断費等

認定こども園施設整備交付金

令和3年度要求・要望額 200億円 + 事項要求 (前年度予算額(臨時・特別の措置除く) 25億円)



認定こども園整備

認定こども園の施設整備に要する費用のうち、幼稚園機能部分に係る費用の一部を補助(新増改築、大規模改修等)



感染症予防の観点からの衛生環境の改善に要する費用の一部を補助

トイレ・給食調理場の乾式化、分散保育に対応するための空き教室の空調整備や保育スペースの確保、感染症対策のための間仕切りの設置等

幼稚園耐震化整備

校種

園舎の耐震指標等の状況に応じて実施する耐震化を支援

防犯対策整備

門、フェンス、防犯カメラ等の設置による防犯対策を支援

実施 都道府県 主体 対象 私立の幼稚園、保育所、認定こども園

補助 割合

国1/2、市町村1/4、事業者1/4 2 国1/2、

事業者 1/2

補助対象 経費

工事費、実施設計費、耐震診断費等

令和3年度内閣府予算概算要求の主要施策(子ども・子育て関係)

子ども・子育て支援新制度の着実な実施(一部社会保障の充実) ※1.2

(令和2年度予算額)

(令和3年度概算要求•要望額)

3兆1. 918億円 →

3兆1, 918億円+事項要求【年金特別会計】

子ども・子育て支援新制度の着実な実施による幼児期の学校教育、保育、地域の子ども・子育て支援の充実、幼児教育・保育の無償化、保育所等の受入児童数の拡大、「新・放課後子ども総合プラン」に基づく放課後児童クラブの受け皿整備などにより、子どもを生み育てやすい環境を整備する。

- ※1 「少子化社会対策大綱」(令和2年5月29日閣議決定)等を踏まえ、予算編成過程で検討。
- ※2 令和2年度における受け皿整備の進捗状況などの実施状況等を踏まえ、予算編成過程で検討。

子ども・子育て支援新制度の着実な実施(年金特別会計に計上)※12 3兆1,918億円+事項要求(3兆1,918億円)

- ◆教育・保育、地域の子ども・子育て支援の充実(一部社会保障の充実)※1 1兆6,383億円+事項要求(1兆6,383億円) すべての子ども・子育て家庭を対象に、市区町村が実施主体となり、幼児期の学校教育、保育、地域の子ども・子育て支援の量的拡充及び質の向上を図るとともに、保育士の処遇改善、幼児教育・保育の無償化等を引き続き、実施する。
 - ① 子どものための教育・保育給付等※1

<u> 1 兆 4, 7 4 4 億円+事項要求(1 兆 4, 7 4 4 億円)</u>

〇 子どものための教育・保育給付交付金※1

1兆3, 379億円+事項要求(1兆3, 379円)

- ・施設型給付、委託費(認定こども園、幼稚園、保育所に係る運営費)
- ・地域型保育給付(家庭的保育、小規模保育、事業所内保育、居宅訪問型保育に係る運営費)
- 〇 子どものための教育・保育給付費補助金※1 69億円十事項要求(69億円) 認可保育所等への移行を希望する認可外保育施設や認定こども園への移行を希望して長時間の預かり保育を行う幼稚園に対し、特定教育・保育施設への移行を前提として運営に要する費用について財政支援を行う。
- 〇 子育てのための施設等利用給付交付金※1 1,296億円) 子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図るため、子どものための教育・保育給付の対象とならない幼稚園、特別支援学校の 幼稚部、認可外保育施設、預かり保育事業、一時預かり事業、病児保育事業、子育て援助活動支援事業を利用した際に要する費用 を支給する。

② 地域子ども・子育て支援事業※1

1,639億円+事項要求(1.639億円)

〇 子ども・子育て支援交付金※1

1, 453億円+事項要求(1, 453億円)

市区町村が地域の実情に応じて実施する事業を支援する。

- ・利用者支援事業 ・延長保育事業 ・放課後児童健全育成事業 ・地域子育て支援拠点事業 ・一時預かり事業
- ・病児保育事業・子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)等
- 〇 子ども・子育て支援整備交付金※1

186億円+事項要求(186億円)

放課後児童クラブ及び病児保育施設への施設整備等を支援する。

◆企業主導による多様な就労形態等に対応した多様な保育の支援※2 2、273億円+事項要求 (2.273億円)

仕事と子育てとの両立に資する子ども・子育て支援の提供体制の充実を図るため、企業主導型の事業所内保育等の保育を支援する。

① 企業主導型保育事業※2

2. 269億円+事項要求 (2. 269億円)

休日や夜間の対応など企業の勤務時間に合わせた保育や、複数企業による共同利用などの柔軟で多様な保育の提供を可能とした施設 を支援する。

② 企業主導型ベビーシッター利用者支援事業※2

3.8億円+事項要求(3.8億円)

残業や夜勤等の多様な働き方をしている労働者が、ベビーシッター派遣サービスを利用しやすくなるよう支援する。

◆児童手当※1

1兆3.262億円十事項要求(1兆3.262億円)

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、児童手当の支給を行う。

令和3年度厚生労働省予算概算要求の主要施策(子ども・子育て関係)

総合的な子育て支援など

(令和2年度予算額) (令和3年度概算要求·要望額) 3.117億円※1 → 3.134億円十事項要求※2

- ※1 令和2年度予算額は、臨時・特別の措置を除く。
- ※2 新型コロナウイルス感染症への対応に必要な経費については、別途要望(事項要求)

1. 保育の受け皿整備・保育人材の確保等

1. 085億円+事項要求(1.085億円)

令和3年度以降の保育の受け皿確保については、必要な者に適切な保育が提供されるよう、第2期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の 見込み」の結果等を踏まえ、令和3年度予算編成過程において検討するとともに、保育を支える保育人材の確保のため、保育士・保育の現場の魅力発信 や保育士の業務負担軽減等を実施する。

◆保育の受け皿整備

767億円(767億円)

必要な者に適切な保育が提供されるよう、子育て安心プランにおける補助率の嵩上げ等について、引き続き実施するとともに、ニーズに応じた受け皿整備や、地域偏在の解消、保育環境の向上等を図るため、利用者の利便性向上のための改修や、よりよい保育の環境を整備するための改修等も補助対象に加える。

◆保育人材確保のための総合的な対策

145億円+事項要求(190億円)

保育士を目指す方や保育士に復帰しようとする方が増え、保育現場で就業しやすくなるよう、情報発信のプラットフォームの作成や保育体験イベント、保育士の表彰など、様々な対象者に対する保育士・保育の現場の魅力発信を支援するとともに、保育士の業務負担の軽減・働き方の見直しを行い、魅力ある職場づくりを支援する。

保育の周辺業務や補助業務に係るICT等を活用した業務システムの導入を支援するとともに、保育士の負担を軽減するため、保育士の補助を 行う保育補助者等の配置を支援する。

保育士宿舎借り上げ支援事業について、対象事業者の要件等を見直す。

◆多様な保育の充実

<u> 1 1 5 億円+事項要求(7 0 億円)</u>

都道府県等が保育所等に配布するマスク等の購入や保育所等の消毒に必要となる経費のほか、職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を 継続的に実施していくために必要な経費(かかり増し経費)を支援する。

医療的ケアを必要とする子どもの受入体制の整備を推進するため、モデル事業を一般事業化し、保育所等における看護師の配置や保育士の喀たん吸引等に係る研修の受講等への支援を実施するとともに、広域的保育所等利用事業(巡回バス事業)について、送迎センターのか所数によらず、送迎バスの台数や保育士の配置に応じて加算できる仕組みとする。

外国籍の子どもが多い保育所等について、保育士の加配を支援する。

◆認可外保育施設の質の確保・向上

29億円(29億円)

認可外保育施設が遵守・留意すべき内容や重大事故防止に関する指導・助言を行う「巡回支援指導員」の地方自治体への配置や、必要な知識、技能の修得及び資質の確保の研修の実施等、認可外保育施設の質の確保・向上に取り組む。

指導監督基準のうち、職員配置基準は満たしているが設備基準を満たしていない認可外保育施設に対して、認可保育所等の設備の基準を 満たすために必要な改修費や移転費等を支援する。

2. 子ども・子育て支援新制度の着実な実施 ※内閣府において要求

- ◆教育・保育、地域の子ども・子育て支援の充実 【内閣府の再掲】
- ◆放課後児童クラブの受け皿整備【一部再掲】

「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、2021年度末までに約25万人分の受け皿を整備し待機児童の解消を目指し、2023年度末までに計約30万人分の受け皿の整備を図る。

3.ひとり親家庭等の自立支援の推進

1,771億円+事項要求(1,756億円)

「子供の貧困対策に関する大綱」(令和元年11月29日閣議決定)及び「母子家庭等及び寡婦の生活の安定と向上のための措置に関する基本方針」(令和2年3月23日厚生労働省告示第78号)等に基づき、ひとり親家庭の就業による自立に向け、就業支援を基本としつつ、子育で・生活支援、学習支援などの総合的な支援の充実を図る。

加えて、養育費相談支援センターや地方自治体における養育費に関する相談支援の充実・強化するとともに、離婚前からの親支援の充実及び養育費の 履行確保に資する先駆的な取組の推進を図る。

◆ひとり親家庭等への就業・生活支援など総合的な支援体制の強化

1,771億円+事項要求(1,756億円)

「子供の貧困対策に関する大綱」(令和元年11月29日閣議決定)及び「母子家庭等及び寡婦の生活の安定と向上のための措置に関する基本方針」(令和2年3月23日厚生労働省告示第78号)等に基づき、ひとり親家庭の就業による自立に向け、就業支援を基本としつつ、子育て・生活支援、学習支援、経済的支援などの総合的な支援の充実を図る。

◆養育費に関する支援

<u> 1 4 8 億円+事項要求(1 3 3 億円)</u>

養育費相談支援センターや地方自治体における養育費に関する相談支援を充実・強化するとともに、離婚前からの親支援の充実及び養育費の履行確保に資する先駆的な取組の推進を図る。

4. 成育基本法を踏まえた母子保健医療対策の推進

277億円+事項要求(277億円)

◆妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援

88億円+事項要求(88億円)

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する子育て世代包括支援センターの設置促進を図る。

※ 「子育て世代包括支援センター」(運営費)については、利用者支援事業(内閣府において計上)を活用して実施

退院直後の母子に対して心身のケア等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する観点から、産婦健康診査等を推進するとともに、母子保健法の改正により法的に位置付けられた産後ケア事業の更なる充実を図る。

予期せぬ妊娠等により、身体的、精神的な悩みや不安を抱えた若年妊婦等が身近な地域で支援を受けられるよう、SNSを活用した相談支援やNPO等によるアウトリーチ、次の支援につなげるまでの緊急一時的な居場所の確保等を実施する。

妊娠期から、出産後の養育への支援が必要な妊婦等への支援体制を強化するため、産前・産後母子支援事業を推進する。

育児等の負担が大きく孤立しやすい多胎妊婦や多胎育児家庭を支援するため、多胎児の育児経験者家族との交流会の開催、育児等サポーターによる産前・産後における日常の育児に関する介助等の支援を行う事業の拡充を行うとともに、多胎児を妊娠した方に対し、単胎の場合よりも負担が大きい妊婦健康診査の費用を補助することで、多胎妊産婦等への負担軽減を図る。

新型コロナウイルス感染症に関して不安や悩みを抱える妊婦等への保健師等によるアウトリーチ実施を条件に、妊婦が産科医療機関で負担 した妊娠判定料の補助を創設する。

出産・子育てに関して悩む父親支援のため、ピアサポート支援や、産後うつ対応を行うカウンセラー配置に係る支援の補助を創設する。 聴覚障害の早期発見・早期療育を図るため、都道府県における新生児聴覚検査結果の情報集約や医療機関・市区町村への情報共有・指導等、 難聴と診断された子を持つ親等への相談支援、産科医療機関等の検査状況・精度管理等の実施を支援する。

◆不妊治療への助成

<u>151億円+事項要求(151億円)</u>

不妊治療の経済的負担を軽減するため、高額な医療費がかかる不妊治療に要する費用への助成を引き続き行う。また、新型コロナウイルス 感染症の流行により、令和2年度中に実施できず延期された治療が令和3年度に実施されるなどによる増加分への対応を図る。

◆予防のための子どもの死亡検証体制整備

1. 3億円(59百万円)

予防のための子どもの死亡検証(Child Death Review)について、制度化に向け、都道府県における実施体制を検討するため、モデル事業として関係機関による連絡調整、予防のための子どもの死亡検証に係るデータ収集及び整理、有識者や多機関による検証並びに検証結果を踏まえた政策提言を行うための費用を支援する。また、国において、都道府県が収集したデータや提言の集約や、都道府県におけるデータ検証に対する技術的支援を実施する。

◆新型コロナウイルス感染症に関して不安を抱える妊産婦への支援

事項要求

新型コロナウイルスに感染した妊産婦等に対し、助産師・保健師等による電話や訪問などの寄り添った支援を行うとともに、必要に応じ、不安を抱える妊婦に対する新型コロナウイルスの検査への支援、オンラインによる保健指導、里帰り出産が困難な妊産婦への育児等支援サービスの 提供を行うなど、新型コロナウイルス流行下における妊産婦に対する総合的な支援を行う。

また、乳幼児健康診査を集団健診から個別健診へ切り替えた場合に生じる市区町村の負担を軽減する。

幼稚園等再開後の活動に関するアンケート (概要)

(アンケート期間:令和2年7月6日~22日)

幼稚園等再開後の活動に関するアンケート(概要)

○ 令和2年7月6日から22日まで幼稚園等の再開後の活動に関するアンケートや実践事例の収集 を行った。アンケートの概要は以下の通り。

〇アンケート実施状況

令和2年7月6日から7月22日まで、全国国公立幼稚園・こども園長会及び全日本私立幼稚園連合会を通じて、幼稚園等の再開後の活動状況に関してアンケート実施。

国公私立の幼稚園・幼保連携型認定こども園から940件(幼稚園808園、幼稚園型認定こども園22園、幼保連携型認定こども園107園)の回答。(【参考】幼稚園数9,697園、幼保連携型認定こども園5,839園(R2.5現在))

〇アンケート項目

- 1. 幼稚園再開後の取組等
 - (1)分散登園の実施
 - (2)クラスの分割等を実施
 - (3) 園再開後の活動により、教室以外に活用が増加した部屋
- (4) 園再開後に増加した業務等
- (5)その他の工夫・課題等
- 2. 園再開後の活動や感染症対策等のための外部の専門職等との連携
- 3. 園再開後の活動や感染症対策等のためのICTの活用
- 4. 今後の対応に関する心配や悩み等

※アンケート結果についての注記

アンケートは園から任意で回答いただいたものであり、事前にサンプリングを実施した上での回答ではないことから、割合等の数値で示した結果は参考値であることに留意。

1. 幼稚園等再開後の取組等

- (1)分散登園やクラス分割等の実施: 分散登園等の工夫もしながら園再開
 - ・約4割の園で分散登園、約3割の園でクラス分割等を実施。感染人数の多い首都圏等では実施率が高く、今後も継続実施の園もある。また、通常以上に少人数グループの活動を増やしたとする園も約3割。
- (2)教室以外に活用が増加した部屋
 - ・約8割の園で遊戯室や空き教室等の活用が増加したと回答。
- (3) 園再開後に増加した業務等: 園再開後衛生管理等の業務が増加
 - ・ほぼ全ての園で消毒業務(子供が特に触れる室内遊具やドア等)が増加と回答。
 - ・多くの園で、遊びの拠点の分散(約6割)、ネットを活用した情報発信(約4割)。
 - ・保護者連絡(約3割)や家庭訪問(約1割)なども増加と回答。
 - ·その他、一部の園で園バスの消毒·便数の増加、検温等健康観察、給食時の配慮の増加など園内環境整備等に関する業務が増加と回答。
 - 約半数で夏休みを短縮すると回答。
- (4)その他の工夫・課題等: 業務・経費負担増への支援や行事も含めた日々の教育活動の模索が課題に
 - ・手洗い・マスク着用等の感染症対策に関する回答や消毒等の業務・経費負担増への支援を求める声。
 - ・感染症対策と両立した日々の教育活動の模索や行事の持ち方等の悩み(特に年長児に関するもの)も。
 - ・その他、教育活動についての保護者の理解、保護者との連携などに関する課題等。

- 2. 園再開後の活動や感染症対策等のための外部の専門職等との連携: **外部の専門職等との連携の必要性**
 - ・保健師、看護師といった保健・医療関係、発達支援、臨床心理士、ソーシャルワーカー等心理・福祉関係の専門機関・専門職などとの連携の必要性及び支援を求める声。
 - ・感染症対策を考慮した教育活動や支援が必要な幼児に対する支援、消毒補助などの観点から、外部専門職・ボランティア等との連携の必要性及び支援を求める声。
 - 保護者や大学生、地域のボランティアによる園運営の支援例も。
- 3. 園再開後の活動や感染症対策等のためのICTの活用: 今後に備えて早急な整備の必要性
 - ・感染症対応を契機に、自園のICT環境が不十分と感じている。
 - ※特に未実施の園からは、第2波に備えて早急な端末・通信環境の整備の支援を求める声。
 - ・オンラインでの会議の実施や研修の受講、臨時休業期間中の家庭との連絡手段、在宅での事務作業等としての活用など園務での活用を強く求める声。小学校との交流活動など教育活動での活用例も。
- 4. 今後の対応に関する心配や悩み等: *業務・経費負担増や日々の教育活動等への心配・悩み*
 - ・感染防止に関する業務・経費負担増加への不安、感染対策のバランスのとり方の難しさなどの悩み。
 - ・園で感染者が出た場合の対応への心配、感染症対策関連業務の緊張感等による教職員の負担。
 - ・社会性・主体性を育む教育活動が十分できないこと(多様な方と関わる経験の不足など)。
 - ・行事の縮小・中止による園児(特に年長児)への影響など幼稚園らしい教育活動が実施できないもどかしさ。
 - ・若手職員等のための研修、来年度の園児募集、人材確保(高齢者同居職員・育休延長等)の悩み。

幼稚園等再開後の取組事例集

幼稚園や認定こども園で実践されている、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら幼児を健やかに育む、様々に工夫された取組をまとめました。

臨時休業中にICTを活用するなどして取り組んだ活動を、再開後の教育活動にうまくつなげている例や保護者への支援も紹介しています。

各園の参考になる事例があると思いますので、是非御活用ください。

令和2年9月7日 時点

文 部 科 学 省 初 等 中 等 教 育 局 幼 児 教 育 課



- 1 新型コロナウイルス感染症対策に留意した遊びの工夫 3
- 2 幼児の発達の特性を踏まえた衛生管理に関する工夫 ●●● 9
- 3 幼児の思いと感染症対策に配慮した行事の工夫 ●●● 14
- 4 幼稚園と家庭との情報共有や連携・協力の工夫 ●●● 19
- 子育てに関する悩み相談やストレス軽減、虐待防止など、保 ••• 22 護者に対する支援

新型コロナウイルス感染症対策に留意した遊びの工夫

遊びの拠点の分散

くこんなところも遊び場にく



廊下や遊戯室、テラスなど遊び場を分散しました。幼児はテラスでごっこ遊びをしたり、廊下で製作活動をしたりなど、思い思いに遊んでいます。



今年はプール遊びにかえて、砂場からの遊びの発展として、水流しの遊びや廃材を使って手作りの船を浮かべる遊びなどにプールを活用しました。



遊びのコーナーを離す、換気をよくする、遊びのコーナーに衝立を置くなどの工夫をしつつ、幼児が楽しめるようにしています。



砂場に遮光ネットをはったり、園庭にテントを 張ったりして、熱中症にも注意しながら遊べる ようにすることで、普段より園庭の活用を増や しています。

※遊びの拠点の分散などでは、こんな工夫の事例もありました!

- ・熱中症対策や幼児が遊びやすい工夫をして、園庭を有効活用 (芝生や中庭の整備(迷路遊びや探索遊び)、グリーンカーテンのおうちや草畑を作成など)
- ・遊びのコーナーを増やしたり、スペースを広く有効活用できる工夫をして、園舎内でも密を避ける (会議室を保育室に転用、廊下や玄関などの活用、保育室の仕切り撤去や移動可能なワゴンを使った環境の変更)
- ・遊びの拠点分散や運動不足解消のため、体を動かして遊ぶ遊具数の増

遊びの拠点の分散

こんなところも遊び場に~



ピアニカは個人使用とし、屋外で一列に並んで 演奏をしました。夏休み中に、自宅で、ピアニカ でいろいろな音を出して楽しめるように動画を配 信しました。



ダイナミックな水遊びの展開のため、グラウン ド全体を『ウォーターパーク』へと大改造しま した。サバイバル水鉄砲、噴水コーナー、ウォ - タースライダー、水路作り、水のトンネルコ ーナーなどを展開し、密を避けつつ、幼児が 伸び伸びと遊べるようにしました。



換気の良いテラスで色水遊びをしました。幼 児同士の間隔をあけつつ、お互いが見える 空間で活動したので、一緒に楽しんだり友 達の作り方に刺激を受けたり、色の違いに 気づいたりできました。



園庭で走ったり、三輪車やスクーター に乗って遊んだりすることがより楽しくな るように、芝生やクローバーを刈り、迷 路を作りました。

※遊具では、こんな工夫の事例もありました!

- ・遊びの拠点の分散や共有頻度を減らすために遊具数の増
- ・はさみなどは個人用に変更
- ・シャボン玉の口をつける遊具などは、中止、個人用に変更、手で遊ぶものに変更などの工夫
- ・遊具の数を増やす一方、消毒の負担などを考慮し、遊具の種類を精選するため幼児の発達に応 じた遊具の再点検を教師間で協議

分散登園等での交流

~離れていても一緒だよ~



隔日登園の中、別の登園日の幼児との仲間 意識や遊びの共有のため、「あしたくるみんな へ」活動を実施しました。掲示版に、今日の 遊びや楽しかったことなどをかきます。翌日、 登園した幼児達は、興味深くそれらを見てい ました。同じ遊びを始める幼児もいました。

遊び方の工夫

_, 遊び方はいろいろ , 私たちが決めたルール



プールを使って、シャボン玉 遊びをしました。継続して遊 ぶことで、液の配合を工夫し たり、人が入れるほど大きくし たりといったことができました。 他学年招待のお店屋さんごっこ。教師の援助の下、レジの飛沫防止シート、電子決済、会計の順番待ちのラインなど、幼児は大人のまねも取り入れ遊びます。



遊具の使い方を幼児と一緒 に考え、各遊具にそのルール をはりました。



「ばんちょうはくぶつかん」コーナーを開設し、園内の動植物の様子、幼児が調べたことや製作物などを展示しました。自粛のためしばらくぶりに登園した幼児が不在時の様子を知ることもできます。

※遊びでは、こんな工夫の事例もありました!

- ・接触等の少ない遊びの積極的な活用(的あて遊び、けんけんぱ、かくれんぼ、しっぽとりなど)
- ・遊びのルールの変更 (巧技台を使った遊びでは「手を使わないルール」を新設、ドンジャンケンの「ドン」を足で「トン」する「トンジャンケン」に変更など)
- ・大型絵本の活用、歌はテラスで外を向いて一列に並んで歌う
- ・プールを中止した場合は水遊びを充実、プールは分散実施や希望者のみ実施

木業中の取組の活用

お家でやったね -緒だと楽しいね



休業中に実ったエンドウ豆やそら豆の収穫動画を作成 しました。教師が豆の数を数えて、たくさん実ったことを 伝えました。

6月の園児によるジャガイモ収穫では、動画を見た幼 児から数を数えたいとの意見がでました。最初は、動 画の教師のまねをしていましたが、数字の下にジャガイ モを並べるなど、試行錯誤する様子が見られました。



休業中に、ホームページでぬいぐるみの人形が ブロックを使って遊ぶ様子を連載しました。

幼稚園再開後、ホームページと同じ環境にし たら、幼児は休業中に家でイメージしたことを 再現していました。



休業中に動画配信し家庭で踊っていた踊 りで、まずは楽しく体ほぐしをします。外出 自粛の影響による体重増加や体の動きの ぎこちなさがみられたので、さらに、走る、飛 ぶ、投げるなど、発達に応じた多様な動き ができるようにしました。

休業中に、担任の紹介、遊び 、手洗い歌や食育に関する動 画を配信しました。園再開後 、配信した動画をもとに、養護 教諭による手洗いを含めた衛 生管理や食育に関する指導 を行い、幼児自ら、健康な生 活に必要な生活習慣が身に 付くきっかけづくりとしました。

は業中の取組の活用

お家でやったね 一緒だと楽しいね



昨年度から「おさんぽカード」を作成し、身近な自然を見つけ、 季節の変化を楽しめるようにしました。登園自粛期間は、親 子で探せるように家庭に2枚ずつカードを配布しました。園再 開後の園外保育の際には、田んぼのオタマジャクシやカエルを 進んで見つけて喜び、ツユクサやアジサイの花や葉の大きさの 違いに気付くなど、自然の変化を楽しんでいました。

幼児を支える教師

対師の学びを止めない ICTの活用



職員会議はビデオ会議としています。また 、保育室でG Suite for Education を使い、日々の保育計画や振り返りの記 入を行っています。これにより、教職員が 物理的に集まることを減らしました。

- ※教師は、こんな工夫もしながら幼児の学びを支えています!
- ・遊びの拠点の分散に伴い、教師はトランシーバーで連絡
- ・教師は普段マスク着用のため、保育室前などに職員紹介を掲示8 24

2

幼児の発達の特性を踏まえた衛生管理に関する工夫

衛生管理の理解

「ダメ」「しなさい」ではなく、幼児自ら



幼児が楽しんで順番待ちができるように、並ぶ位 置に動物の足型などをはりました。動物の足型に 関心をもつ幼児がふえました。



話声、咳、くしゃみの飛沫を幼児にも わかりやすく視覚化し、感染予防の意 識を高めています。



うがいの時に隣の幼児にしぶきがかからないように段ボールやカラービニル袋で間仕切りをつくっています。また、アクリルスタンドでコップが接触しないように仕切りをつくっています。

※マスクに関しては、熱中症予防のため体を動かす時にははずしたり、衛生管理の観点から使用後のマスクを入れるファスナー付きビニール袋を準備したりしている例がありました。

衛生管理の理解「ダメ」「しなさい」 ~ ではなく、幼児自ら



手のひらは王様バイキン、指の間はお山バイキン、親指はネジネジバイキン、手首はかけっこバイキンなどを図示し、それぞれこするように、ねじるように、かけっこで手首をつかまえて…など、洗い方が年少児にもわかりやすくなるようにしました。



幼児がよく触れる箇所 にウイルスのイラストをは り、手洗いを促すきっか けとしました。



虫眼鏡のイラストを使って、手洗い前には 雑菌やウイルスがいることを見せることで、 幼児の手洗いや消毒への意欲を高めま した。

※手洗いに関しては、こんな事例もありました!

- ・手洗い順序のイラスト、手洗い歌、教師の手洗い の様子の動画配信、楽しくなる石鹸泡づくり、手に ばい菌のスタンプ
- ・登園、手洗い、持ち物整頓がスムーズにできるよう に幼児の動線を見直し
- ・遊んでいる時に手洗いの合図の音楽をかける
- ・消毒ボトルは幼児が消毒しやすい高さに合わせ、 目につくイラストや文字をつける

- ※新型コロナウイルスに関する幼児への説明では、紙 芝居や人形を使った説明などの事例もありました。
- ※身体的距離の確保や対面を避ける工夫では、こん な事例もありました!
- ・使用する椅子に、幼児が親しめるように大きなリンゴの似顔絵マーク「おすわりリンゴ」を置く
- ・使用しない椅子にぬいぐるみを置く
- ・飛行機のポーズで身体的距離を意識させる

衛生管理の工夫



共有物品を減らすため、 個人用のペットボトルバケ ツをつくって、水遊びをして います。



遊具、用具、絵本など、遊んだり触れたりしたものを置く片付け専用のカゴなどを準備することで、使用済みの遊具等を他の幼児が使用したり、洗浄・消毒する物品を明確にしたりしました。



水道使用時の幼児同士の距離を確保 するため、使用できる蛇口を一つおきにし ました。使える蛇口が減ったため、園庭に 手作りで手洗い場を増設しました。

- ※幼児の密を避けるため、こんな工夫の事例もありました!
- ・空間に入れる人数を調整 (入口の靴置き場の数の減、チケット制での入室、保育室に入室できる人数をボードに掲示するなど)
- ※遊具などの物品の管理について、こんな事例もありました!
- ・消毒のしやすい遊具などの活用
- ・洗浄・消毒、乾燥しやすいよう買い物かごを遊具を入れる容器として利用
- ・絵本は降園後に消毒・乾燥したり、定期的に入れ替えを行ったりするなどの工夫
- ※そのほか、換気の徹底(定期的、エアコン中でも換気など)、着替え回数減のため遊び着で登園、幼児の体液が教師のスモッグに付着したら着替えなどの事例もありました。

お弁当の時間

~静かだけど楽しい~



5歳児は、一つのテーブルに2人ずつ同一方向を向き ますが、クラスの友達の顔が見えるように大きな円にし ています。4歳児は、教師が幼児全員を見渡して必 要な援助をすることも考慮して、一つのクラスでパーテ - ションを利用しています。

小倉南幼稚園

感染予防により友達と 元気に遊べることを幼 児に伝えています。お弁 当の時間も、「おなかの ためによく噛んで食べよ うね」、「話に夢中にな ると食事時間が長くなっ て遊ぶ時間が少なくな るね」などを伝え、結果 的に静かに食べるように しています。

衛生管理の理解

~教師も学びます~

薬剤師による講 話会を設け、消 毒に使用する薬 品の扱い方など の指導を受けま した。

休業中に、近隣

の園長で衛牛 管理や感染症 対策について話 し合い、園再開 後の活動に取り 入れています。

※お弁当に関しては、こんな工夫の事例もありました!

- ・会話を控えるための工夫 (音楽や昔話を流す、テラスに机を並べて自然の音に耳を澄ませるなど)
- ・会議室を食事の時のみ使用する部屋として使用
- ・お弁当の時間のお茶などは教師が準備

消毒すべき箇所のチェッ クリストを作成しました。 幼児が遊びに没頭して いる最中は消毒を控え ますが、チェックリストの 活用により、忘れずに消 毒できています。

3

幼児の思いと感染症対策に配慮した行事の工夫

入園式 〜 お祝いの気持ち 〜 を伝えたい



換気のよい園庭で、新入園児等の 間隔をあけて行いました。春の陽気 の中、花壇の花も咲き、これからの 園生活が楽しみです。



小类化药类

入園式は新入園児と保護者1名の参加とし、会の終わりに進級児が花道を作りお祝いしました。花道は、対面にならないように片面にだけ並びました。

入園式中止のため、園再開後、立て看板と花を飾ったアーチを正門に飾り、入園児と保護者が記念撮影ができるようにしました。

「入園を祝う催し」を 開催し、年長児から のお祝いのメッセージ ビデオの放映、年長 児手作りの壁面装飾 をしました。会をビデオ 撮影し、後日、保護 者に見ていただきまし た。

~願いを込めて~



いつもは幼児が集まって七夕飾りを作りますが、今 年は「七夕コーナー」を作り、予め作った作品を持 ち寄って、飾りつけをしました。その後で、追加で飾 りを作れるように制作コーナーを設置し、どの学年 でも好きな時に来て楽しめるようにしました。



いつもは、「老人施設あきつの」の方々と一緒に七夕飾りを作 り、「老人会」の方々を七夕集会にお招きしていましたが、今 年は、願いを込めた七夕の笹飾りにメッセージをつけて「老人 施設あきつの」「老人会」等に届けました。

> 親子笹飾りの行事では、 密集しないように複数の部 屋に分散して行い、短時 間で終えられるように、各 家庭で作った七夕飾りを 持ってきてもらい、飾りつけ を行いました。

いろいろな行事 ~こうして実施したよ~

武庫愛の風気が

一斉集合の誕生会は中止し、誕生 児はバッジを付けることで、他の幼児が お祝いしやすくしました。また、教職員 が給食時にクラスを回ってお祝いパレ ードを行いました。



「夜のつどい」を「夏のつどい」に変更し、全体 を2グループに分けた分散型にし、年長児発 案の店やPTAのコーナー、盆踊りを中心に行 いました。花火や飲食は中止しましたが、年 長児の店のスペースを広くとったり積み木迷 路を一方通行にして密を避けたりして、親子 で楽しめるようにしました。

収穫した野菜を園で調 理することは中止し、家 に持ち帰って料理しても らいました。持ち帰りの 順番は幼児が話合い、 後日、幼児は料理を発 表しました。



移動を伴う野外活動に 換え、保育室でのミニプラ ネタリウムを開催しました。

小学一年生を園に招 待することは中止し、 年長児から質問をは がきに書いて送りまし た。お兄さんお姉さん から小学校の様子を 教えてもらえるのを楽 しみにしています。

いろいろな行事 ~こうして実施したよ~

【運動会】

- ・平日に学年ごとに実施しました。 (保護者参加も限定)
- ・保護者の思いなどを踏まえて土 曜日に学年ごとの入れ替え制で 実施しました。
- ・接触の少ない種目や練習時間 が少なくてもできる種目に限定し ました。
- ・運動会の時間を短縮しました。

【遠足】

- ・バス乗車時間の短い場所に 変更しました。
- ・バス利用をやめ近隣の山な どに変更しました。
- ・バスに乗る経験確保のため 園児のみバスとしました(親 子遠足だが保護者は現地 集合)。
- ・希望者のみ現地集合現地解散での参加としました。

【交流活動】

・近隣園とは、直接ではなくオンラインで交流しました。



・家庭でも意識できるように保育で取り入れている交通安全の説明資料を家庭に配布しました。



4

幼稚園と家庭との情報共有や連携・協力の工夫

青報提供・情報共有

家庭とともに 幼児を育てる

【保護者参観の機会の減を 踏まえた保護者への情報提供】

- ・写真と一緒に教師がとらえた幼 児の育ちのコメントを添えて掲示 しました。
- ・登降園時に大型のテレビモニター に幼児の活動を投影しました。
- ・ホームページ更新回数を増やし ました。
- ・園だよりなどの写真の掲載数を 増やしました。



【衛牛管理】

- ・園での取組を保護者に伝えまし た(消毒、換気、手洗い、机の 設定、給食当番、清掃活動、 外したマスクの保管方法、給食 の食べ方など)。
- 家庭で気を付けてほしいことを伝 えました(生活リズム、衛生管 理)。
- ・手洗い方法のイラストや手洗い 歌をつくり園で活用するとともに、 家庭に配布しました。

【家庭への支援】

- ・登園自粛の家庭に 定期的に連絡して います。
- ・家庭のアルバム作成 のため写真を提供し ています。

【登降園時】

- ・時間差登園により、 マスク着用の上、保 護者と担任が会話 をしています。
- ・話を最小限にして 連絡帳、掲示板、 ホームページを活用 しています。

【保護者との連携】

- ・家庭と連携した食育、適 度な運動、規則正しい生 活習慣を推進しました。
- ・個人の連絡帳を活用しま した(保護者からも返事を 書いてもらい家庭での様子 も知ることができました)。

【保護者参観】

- 分散開催としまし た。
- テラスや廊下から 参観としました。

【その他】

- 家庭でもできる体を使っ たストレッチや簡単なゲ ームなどで運動機能が 発達するような活動を増 やしました。
- ・外国人幼児等の保護 者のために、園だよりやメ ールを翻訳しました。



プラネタリウム参観の中止に伴い、幼児同士の交流の機会や 天体への興味をもってほしいと の保護者の思いから、保護者 所有の家庭用プラネタリウムを 借りて実施しました。この活動 が、七夕のロケットの飾りにもつ ながりました。 PTA活動の大幅縮小により、本年度は有志によるサポーター制をとり、参観時の椅子の消毒、運動会のテント張などを手伝っていただいています。保護者からのご提案でもあり、幼稚園での思い出づくりにもなります。

第 2 波に備え、 PTA役員会や学 級懇談会などをオ ンライン会議システ ムを使って試行しま した。



保護者が集合した 草取りに換え、保護 者からのご提案で、 駐車場の草を送迎 時に「1日1本抜い ちゃおう運動」を開 始しました。 5

子育でに関する悩み相談やストレス軽減、虐待防止など、保護者に対する支援

子育ての支援

一人じゃないよ 私たちがいるよ

大阪教育大学ができる。 園再開後すぐ、休業中の 幼児の様子や保護者の 不安などのアンケートを実 施し、保育に生かしたり 保護者との連携に役立 てたりしました。 アンケート 結果から不安を感じてい る保護者には声掛けをし ています。

山直北到海

保護者が頑張ってい らっしゃる様子や家庭 で実践してみたくなる 子育てのポイントを記 したおたよりを配布し ました。

薫英学園からります。 幼稚園の休業中に Zoomを用いて家庭での 幼児の様子を尋ねたり、 動画で園の様子や教材 を提供しました。園再開 後は、子育ての参考とな るよう、園の様子や保育 を動画配信しています。



保護者交流の機会の減に対応し、保護 者同士が繋がる「仲良しボード」を作りまし た。第1回は、「ステイホーム中の家庭での 過ごし方」をテーマに付箋に記入し、テラス に掲示しました。

山梨大学教育学研究 Webのアンケートフォ ームを活用した保護 者投稿欄「モヤモヤ& お役立ち!投稿ボック ス」を開設しました。

Old P. Sulphing

懇談会は、保護者の ニーズに応じ、学級担 任に加え、園長、保 健師、発達専門の相 談員との懇談もできる ようにしました。



分散登園中も、 家庭で楽しめる 教材の配布、絵 本の貸し出しなど を継続しました。 ストレスを感 じている保 護者に預か り保育の利 用を勧めて います。

自宅の時間がふえストレス発散ができないとの声を踏まえ、親子登園してジャガイモ収穫を行いました。密を避け、保護者の都合のよい時間に参加できるよう、収穫の時間帯は決めませんでした。

感染症に 対するマニュアルを作成し、各家庭に配布し ました。

【懇談会や個人面談】

- ・不安を感じている保護者が多かったため、密にならない工夫をして実施しました。
- ・一律の個人面談は中止し、希望者のみ実施しました。
- ・登降園の様子を見て個別に 面談の声掛けをしました。
- ・対面実施と電話での懇談との 選択制としました。
- ・スクールカウンセリングを活用しました。



ホームページに 未就園児親子 向けの遊びのヒ ントとなる教材を 紹介しています。

保育士修学資金貸付(*)を受けている方が、一定の要件を満たす幼稚園で 5年間勤務された場合、当該貸付の返還が免除されます

※ 保育士の養成施設に在学する方を対象に修学資金の貸付を行う制度 https://www.shakyo.or.jp/guide/shikin/kashitsuke/index.html

STEP 1

養成学校を卒業した日から 1年以内に保育士登録

STEP 2

貸付を受けた都道府県内で5年、以下の施設で勤務(※)

- ① 預かり保育を常時実施している幼稚園
- ② 認定こども園への移行を予定している幼稚園

対象については

都道府県・指定都市の社 会福祉協議会又は都道府 県等の保育担当部署

に相談



- ※東日本大震災における被災県(岩手県、宮城県及び福島県に限る。)以外の都道府県等において貸付けを受け、 被災県内の施設で勤務する場合も免除となります。
- ※過疎地域に就職する場合または中高年離職者(入学時に45歳以上かつ離職して2年以内)の場合、勤務期間3年間で免除となります。



Q&A

- Q. 就職後、5年以内に要件を満たす別の幼稚園等に転職した場合、免除は受けられますか?
 - A. 勤務期間が合計で5年間に達すれば、免除を受けることができます。
- Q. 就職後、人事異動等で勤務先の都道府県が変わった場合、免除は受けられますか?
- A. 本人の意思によらず貸付都道府県外の園で働く期間は「5年間」に算入できます。